

2019年度 一般入学試験（後期日程） 産業情報学部 産業情報学科 出題の意図

1. 実施状況

志願者数・合格者数

| 志願者数 | 合格者数 |
|------|------|
| 18 | 5 |

2. 産業情報学科 アドミッション・ポリシー

1. 将来の具体的なビジョンを描き、自己研鑽できる人物。
2. 情報科学や産業・経済に興味があり、産業情報学科で学びたいことを明確に持ち、意欲的・主体的に勉学に励むことのできる人物。

A O型入学試験のアドミッション・ポリシー

産業情報学科では産業社会(経済・金融・企業経営など)の基本的なしくみと情報技術について学び、経済活動や日常生活と情報技術の深い結びつきを理解することで、個人が地域社会において果たすべき役割について認識を深めます。

理論と実践が融合したカリキュラムにより、あらゆる産業分野において情報化を推進する「産業の情報化」、情報技術を基に企業や産業の創出・発展を企画し実行する「情報の産業化」が担える人材の輩出を目標としています。

また、学力だけでは計れない多様な資質を有する学生をA O型入学試験によって受け入れ、個性に柔軟に対応した教育を行い、多元的な社会で活躍できる人材を育成します。A O型入学試験では、特に、次のような志願者を求めます。

- ①他者に誇れる活動を行った、あるいは行っている人
- ②産業情報学科で学びたい事を明確にアピールできる人
- ③大学卒業後の具体的なビジョンを描き、自己研鑽できる人

3. 出題の意図

出題は、情報産業の中でも近年特に著しい発展を遂げ、産業界に強いインパクトを与えているAIについてまず例をあげ、その後、観光立県である沖縄がよりよいサービスを観光客に提供するためにAIの機能をどのように取り入れるべきかを考えてもらう問題である。実在するAI搭載機器にかかわらず、まだ実在しないが、あれば喜ばれると思われる機能を考えてもらい、それらがどのように役立つのかを利用者と観光提供者の立場から論理的に説明してもらうことで、基礎的な知識、思考力・判断力・表現力等の能力を見る。また、産業情報学科では、産業・経済に興味がある人物を募集しており、今後産業全体に深く関わってくるとされる情報テクノロジーのAI、ならびに観光産業で支えられている沖縄県について、どのような知識・問題意識を持っているかを記述してもらうことで、入学後、主体的に学習に取り組む態度や目的意識、そして動機を推し量る。

4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

身近に利用可能になった新しい情報テクノロジー（AI）が、沖縄の基幹産業（観光産業）にどのように影響を与えるだろうかについて、他者（利用者と観光提供者）の立場に立って分かりやすく論理的に記述することがポイントです。